

ATAサテライト 静岡

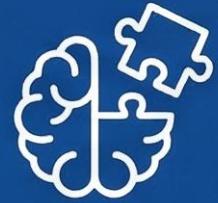


パラフットボールから始まる地域の輪
支援機器と思いをつなぐ、静岡交流会

常葉大学 保健医療学部 作業療法学科 村岡健史（作業療法士）

パラフットボールとは

サッカーはひとつじゃない。様々な障がいに合わせて、7つのパラフットボールがあります。



IDサッカー

知的障がいのある選手のためのサッカー



アンプティサッカー

主に上肢または下肢の切断障がいのある選手のためのサッカー



ブラインドフットボール

視覚障がいのある選手のためのサッカー



デフサッカー

聴覚障がいのある選手のためのサッカー



ソーシャルフットボール

精神障がいのある選手のためのサッカー



CPサッカー

脳性麻痺のある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー

重度の障がいがあり電動車椅子を使用する選手のためのサッカー

障がい×サッカー

静岡のパラスポーツを動かす連携の力

STEP 1: 中核となる人物

静岡パラフットボールの キーマン、瀬戸脇氏

パラスポーツと人、そして社会をつなげるために
日々活動。



IAI パラスポーツパーク
NPO 法人静岡 FID サッカー
連盟 理事長

STEP 2: 企業の共感

産業用ロボットのIAIが 活動に共鳴

瀬戸脇氏のパラスポーツ推進の理念に
深く共感した。



株式会社アイエイアイ (IAI)
産業用ロボットのリーディングカンパニー

民間企業による 拠点創設という決断

一般企業がパラスポーツの拠点を作る



STEP 3: 生まれた成果



「IAIパラスポーツパーク」の誕生

IAIが自社の敷地内にパラスポーツ専用フィールドを建設

「静岡すごいぞ」と
言えるほどのインパクト !

すべては、現場の
「困りごと」を
知ることから
始まった。

ATAサテライト交流会：2025年10月4日

その日、パラアスリートの皆さんには参加できない



村岡

- ・交流会に向けて、アスリートの声を集めたい
- ・パラスポーツの実際を観てみたい



私も一緒に同行します！



テクノエイド協会
香川氏

2025年9月7日（日）
IAIパラスポーツパークにて
アスリート/関係者へインタビューし意見や問題点を把握



パラスポーツの現状：インタビューから見えた3つの課題

ブラインドサッカー、CPサッカー、アンプティサッカー、電動車いすサッカーの選手と家族へのインタビューから、パラスポーツ界が抱える多様な「困り事」とその根本的な問題が明らかになりました。

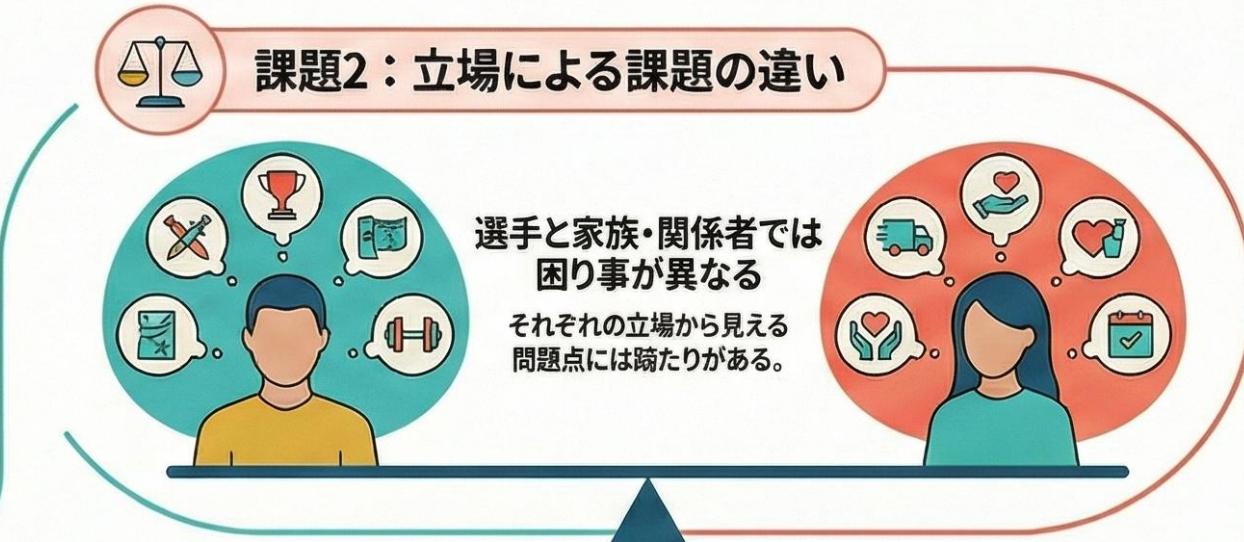
課題1：競技による課題の多様性



困り事は競技ごとに全く異なる

全てのパラスポーツで同じ課題を抱えているわけではない。

課題2：立場による課題の違い



課題3：最も深刻な課題 - 語る機会の欠如

課題について
話す機会がなかった

インタビュー対象者
「こんな困りごとを聞かれたことはなかった」

これがパラスポーツの現状



ATAサテライト静岡

パラフットボールから始まる地域の輪 ～支援機器と想いをつなぐ、しづおか交流会～

本日の予定

座長挨拶：村岡健史

本事業の説明：テクノエイド協会

2025年10月4日（土）10:30-17:00

1 静岡県におけるパラスポーツ振興の取組みについて

牧野博文 氏（静岡県 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班）

2 パラフットボールと支援機器のつながり

「車いすファンサッカー・ファンガード」の紹介・パラフットボール道具の紹介体験／展示・IAIサッカーロボ体験

3 IAIパラスポーツパークの設立と取組み

瀬戸脇 正勝 氏（静岡FIDサッカー連盟）

4 パラスポーツ当事者の声～インタビューから見えてきたこと～

座長：村岡健史

【意見交換会】

テーマ①：当事者の声からそれぞれの立場で思うこと／考えること

テーマ②：競技者・家族が希望する製品とは

テーマ③：想いを形にするための方法と普及のための方策



期待する3つの「場」

① 製品普及啓発の場

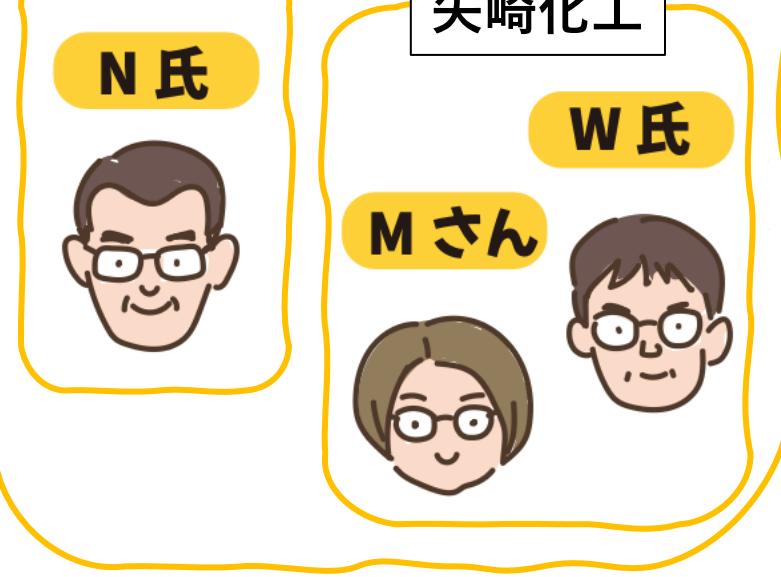
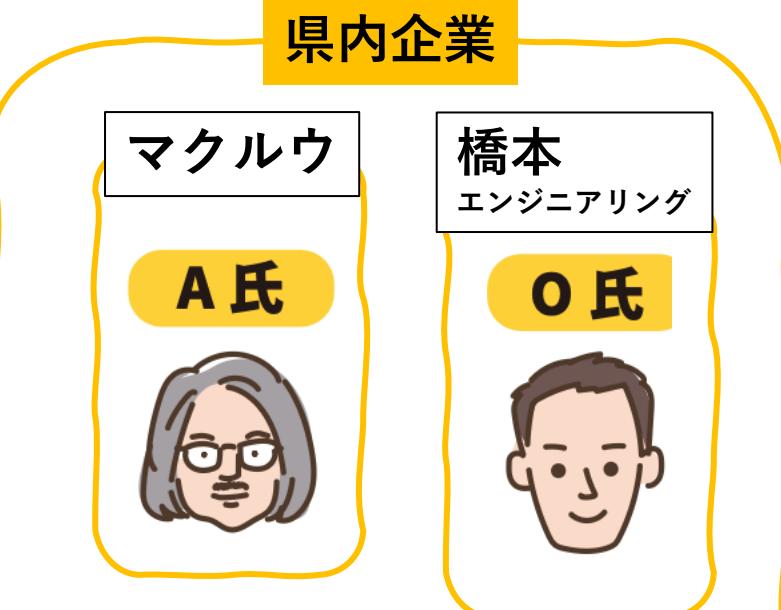
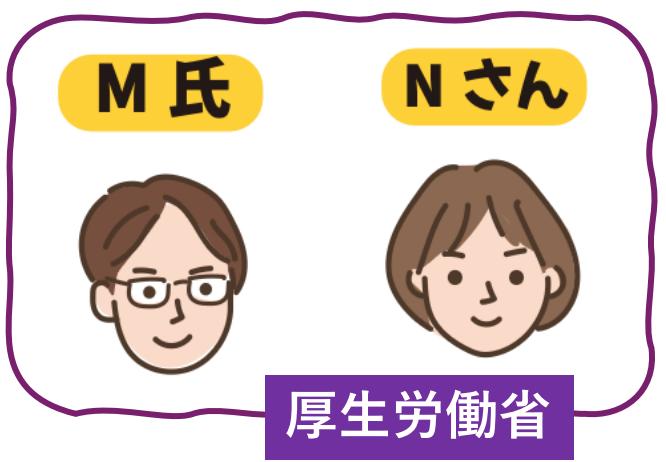
② 製品開発のための

意見収集の場

③ 競技者の技術向上の場



10/4 交流会 参加者



静岡県におけるパラスポーツ振興の取り組みについて



静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班

牧野 博文氏

①障害のある方のスポーツの参加促進



静岡県障害者スポーツ大会「わかふじスポーツ大会」の開催



②パラスポーツを支える人材の育成

「初級パラスポーツ指導員養成講習会」の開催

日本パラスポーツ協会公認資格
「初級パラスポーツ指導員」のための講習会



R6年度受講者 24名
静岡県内の初級資格保持者 901名

指導員スキルアップ講習会の開催

パラスポーツ指導員、競技団体指導者に向けた、スキルアップのための講習会



R6年度受講者 7回開催
受講者 218名

③パラスポーツの認知度向上、様々な団体との連携

「ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム」の運営官・民が連携し、パラスポーツ推進する為の組織としてR5年に設立
会員数 (R7,9,26時点)
団体：143団体 (県内各市町村、一般企業、医療教育機関)
個人：211名



コンソーシアム：会員認証事業支援、マッチング事例

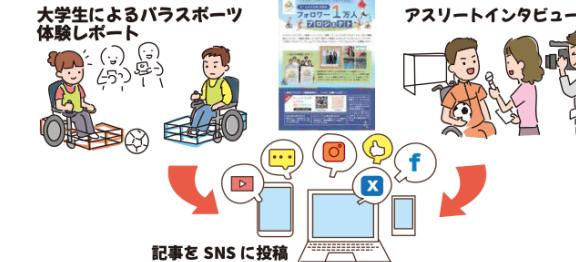
静岡ブルーレヴズホームゲームパラスポーツ体験・トークショー



清水駅前商店街パラスポーツフェスティバル



コンソーシアム：広報活動



パラスポーツの裾野拡大の取組

①パラアスリートの発掘・育成

パラアスリートの発掘・競技体験会の開催

基本的運動能力の測定会と16競技団体による競技体験会を開催



パラスポーツ団体による「強化練習会」開催
R6 12競技、開催 102回 延べ参加者 1310名

「全国障害者スポーツ大会」への選手団派遣
R6 実績 派遣選手 48名



①パラアスリートの支援

静岡県ゆかりのパラアスリートの強化活動費等補助

R6 実績対象選手 24名
支援選手のうち 9名がパリパラリンピックに出場メダル獲得 3名



東京デフリンピック 自転車競技開催 2025年11月15日～26日

想定参加人数 70～80カ国・地域から選手団等約6,000人 (選手3,000人)



「やるじゃん静岡」
「見直したぞ静岡」

静岡県におけるパラスポーツ振興の取り組みについて

パラスポーツの裾野拡大の取組



静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班

牧野 博文氏



③パラスポーツの認知度向上、様々な団体との連携

「ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム」の運営官・民が連携し、パラスポーツ推進する為の組織として R5 年に設立

会員数 (R7,9,26 時点)

団体：143 団体 (県内各市町村、一般企業、医療教育機関)

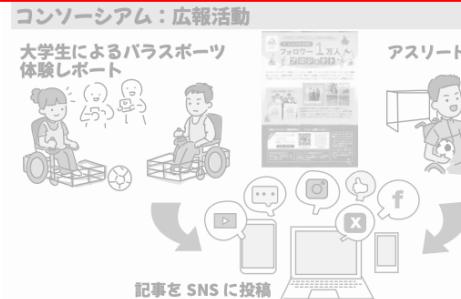
個人：211 名



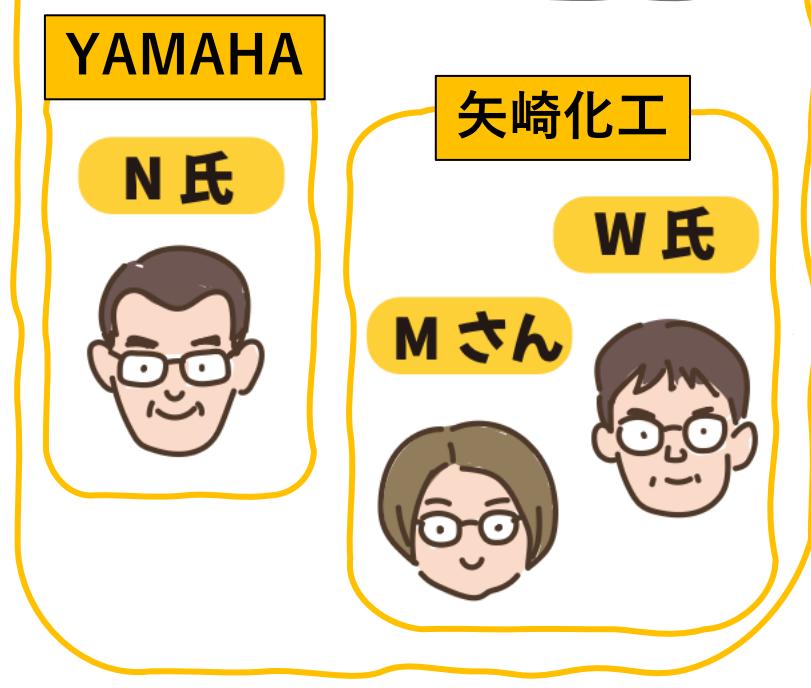
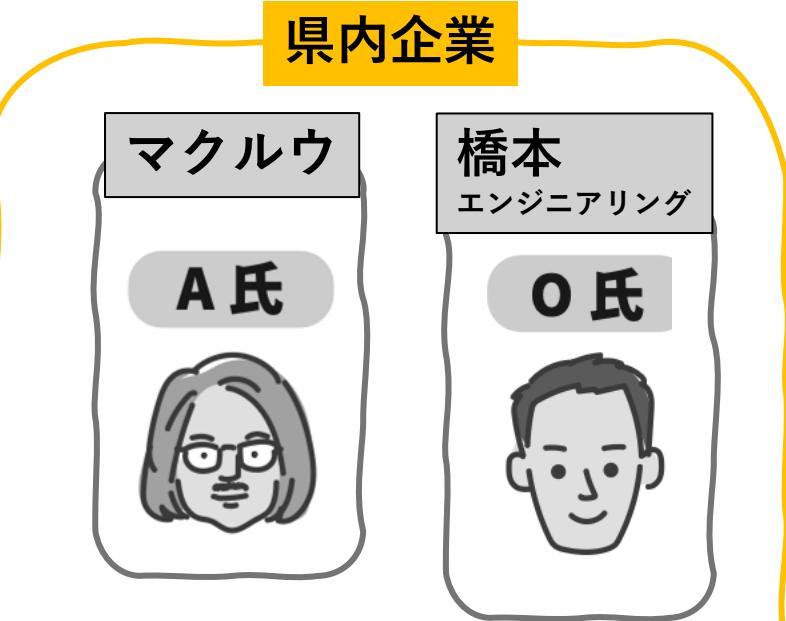
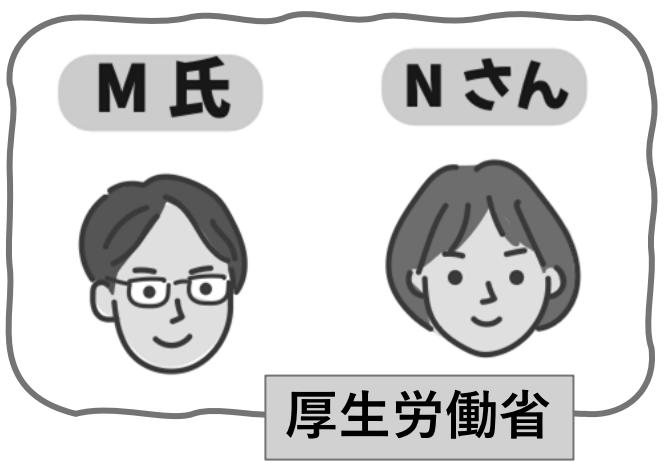
チームパラスポーツ
しづおか
Shizuoka Team
Adaptive Sports (STAS)

コンソーシアム：会員認証事業支援、マッチング事例

「初級パラスポーツ指導員養成講習会」の開催
日本パラスポーツ協会公認資格
「初級パラスポーツ指導員」のための講習会



10/4 交流会 参加者



「パラフットボールと支援機器の繋がり」

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団

横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部

リハビリ工学師 中村詩子さん

サッカーがしたい！



きっかけは「サッカーがしたい」
ある車いす小学生の一言から
DIYで開発へ



競技用車いすは150万円～200万円とかなり高額



発案開発者

横浜リハ

I 氏

中村さん



企業

YAMAHA

N 氏



矢崎化工

M さん



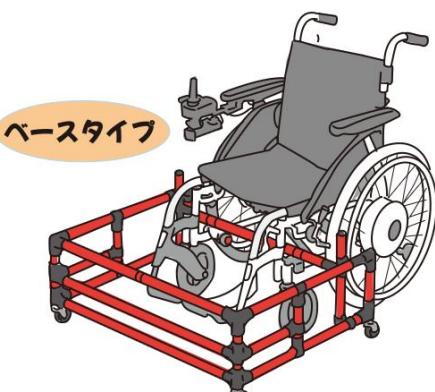
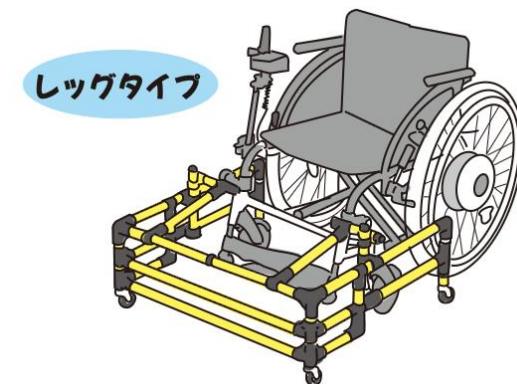
W 氏



ユーザー

車椅子
ファンサッカー協会

K 氏



令和6・7年厚生労働省「障害者自立支援機器等開発促進事業」

開発代表者（申請者）

矢崎化工株式会社 機器の開発販売

開発協議会 開催頻度：年2～4回

- ヤマハ発動機株式会社
- 横浜ラボール（障害者スポーツ文化センター）
- 横浜市立上菅田特別支援学校

開発分担者

横浜市総合リハビリテーションセンター
開発ディレクション
臨床現場や関係機関との連携

臨床現場

- ・ユーザーのヒヤリング
- ・臨床現場での試行
- ・評価場所の協力など

- 横浜ラボール
- 横浜市立上菅田特別支援学校

ニーズ・シーズマッチングの代表事例

「パラフットボールと支援機器の繋がり」

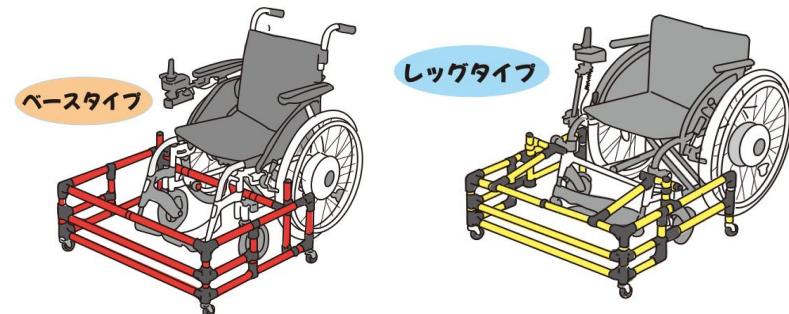
ヤマハ発動機公式チャンネル「Field Borm Vol.9 あなたがここにいるから」
横浜リハビリセンター 中村さんファンガードの制作動画

再生回数が多かった、反響があった！ 再生数 31万回



ヤマハの電動車椅子だけでなく、活動されている方(SDGs)の動画とした。プロのカメラマンと編集技術でメディアをうまく使った！

ヤマハさんの動画
反響は大きい



実際声がかかったとき困りませんでしたか？

正直、車いすが壊れるのでやめてほしいという気持ちだった。

1つだけ条件を出させてもらった。



YAMAHA

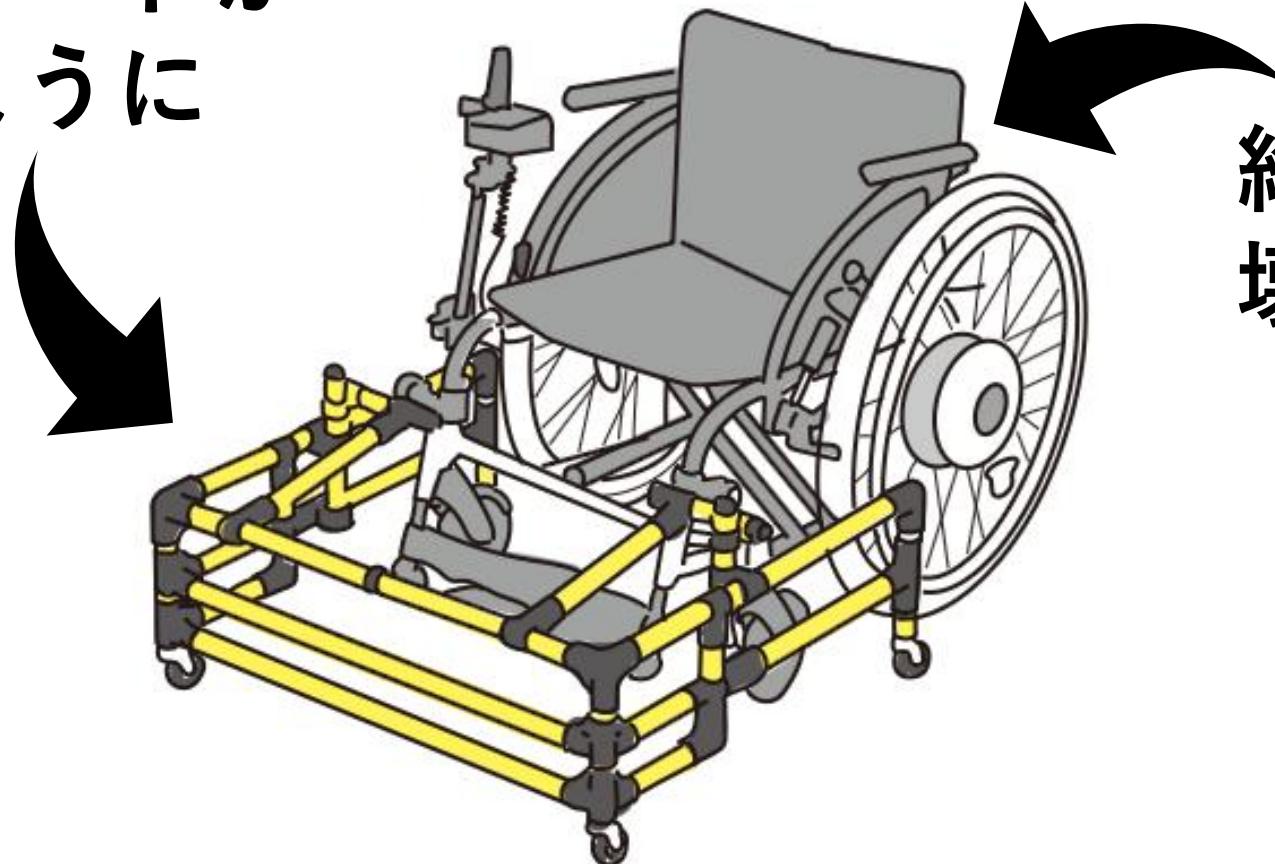
N 氏



「パラフットボールと支援機器の繋がり」

【開発協力の絶対条件とは】

ファンガードが
壊れるように



既製品を応用した商品開発における
非常に大事な視点

絶対に車いすを
壊さないで

YAMAHA

N 氏



IAI パラスポーツパークの設立と取り組み

IAI パラスポーツパーク NPO 法人静岡 FID サッカー連盟 理事長

瀬戸脇 正勝氏

静岡 FID サッカー連盟の取り組み

特別支援学校等の卒業生に豊かな人生をおくって欲しい
長い人生のなかで働くことだけ教えるのではなく
土日の楽しみがないと心折れてしまう

静岡はサッカーが盛ん



ID (知的障害) からはじめたサッカー部から多様な障がい者の広がり



行政だけに任せるとではなく
民間企業にとっても社会貢献や社会的評価につながるメリットを提唱

パラスポーツ一人一人をつなぐ

IAI パラスポーツパーク パラスポーツ専用の会場

大会、イベントをとおして、地域の人々の交流を
促進し、連帯感や活力を醸成することを目指している
2024年12月にオープン



人工芝のフットサルコート
車椅子競技を行うことのできる
屋内コート、クラブハウスがあります



ラインサッカーフェンス
(白い衝立) 10分で
設置可能



もしかしたら静岡県民は気づいてしまったかもしれない。
パラフットボール競技が面白いということに。→なぜ気づけたか。

IAI パラスポーツパークの設立と取り組み

IAI パラスポーツパーク パラスポーツ専用の会場



瀬戸脇さんの戦略

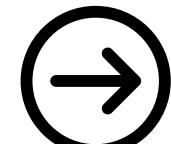


もしかしたら静岡県民は気づいてしまったかもしれない。
パラフットボール競技が面白いということに。なぜ気づけたか。



大会を
イベント化する工夫

大会とセットで
競技体験ブース
を用意



健常者も
そのスポーツの難しさや
すごさが理解できる



ただ観戦しただけでは
生まれない感情を醸成

パラスポーツ当事者の声～ インタビューから見えてきたこと～

常葉大学 保健医療学部 作業療法学科講師 村岡健史氏

しづおかパラフットボール

「困りごと」「想い」の共有



用具の使用
特別な道具のルール



練習環境
場所や方法の課題



ルール・制度
競技の決まりごと

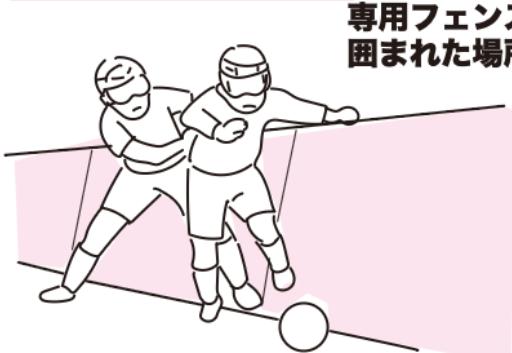


音と声が頼り！ブラインドサッカー

ブラインドサッカーは、アイマスクをつけた選手がボールの鈴の音や声だけを頼りにプレーするスポーツ



理想の練習場所



専用フェンスで
囲まれた場所

課題2：安心して練習できる場所

安全確保が重要
専用フェンス会場
が欲しい



ブラインドフットボール
視覚障がいのある選手の
ためのサッカー

CPサッカー
脳性麻痺のある選手の
ためのサッカー

アンブティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がい
のある選手のためのサッカー

電動車椅子サッカー
重度の障がいがあり電動車椅子を
使用する選手のためのサッカー

課題1：頭と目を守る道具

激しいプレーでヘッド
ギアやアイマスクが
ずれたり外れると試合が
中断、審判が毎回付け
直す必要がある

ブラインドサッカー競技者の声



アイマスク、ヘッドギア
一体型

高い
安全性！

一体型装備
の必要性

課題3：シュート練習

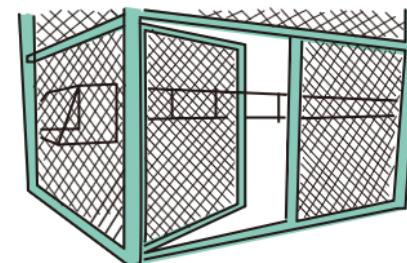
ゴールのところに音を出す機械があれば
1人でも練習できるのになあ



スマホを活用すれば
すぐに解決

現状の課題

フットサルコート
(衝突による怪我のリスク)



自分の見えないところに
大切なスマホを置いておけますか？

CP サッカー 脳性まひのある選手たちが挑む 7 人制サッカー



夢の舞台はどこへ？選手たちの挑戦

元代表選手の声

CP サッカーの「見えない壁」



ブラインドフットボール
視覚障がいのある選手のためのサッカー



CP サッカー
脳性麻痺のある選手のためのサッカー



アンブティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がいのある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー
重度の障がいがあり電動車椅子を使用する選手のためのサッカー

目標の喪失
ロンドンパラリンピック以降、
公式種目から除外

技術向上で健常者サッカーとの差が縮まり
障がい者スポーツとしての位置付けが困難に

国際ルールの課題
一部の海外チームで障がいの重い選手を
試合に出さないケース、問題が複雑化

CP サッカー選手たちは 困難に直面している

仲間を見つけ、未来につなぐ道のり

課題：選手を見つけ、増やすための 3 つの壁

選手層の薄さ

脳性まひのある選手が少ない
明確なキャリアパスが不足
している

情報伝達の難しさ

個人情報保護のため候補者
リストが得られない。広報活動
の努力が必要

人間関係の課題

障がいの特性上、人間関係構築
が苦手でチームを離れてしまう

工夫：自分たちで未来を切り拓く選手たちの活動



広報活動の継続

自作のパンフレット配布



行政との連携

県がサッカー広報活動を開始

福祉機器では
解決できない問題も

アンプティサッカー 大切な「相棒」クラッチの課題と工夫



足に障がいのある選手がクラッチ（杖）を使ってプレーするスポーツ

選手にとって、クラッチや防具は体の一部

既製品を超える DIY 製品

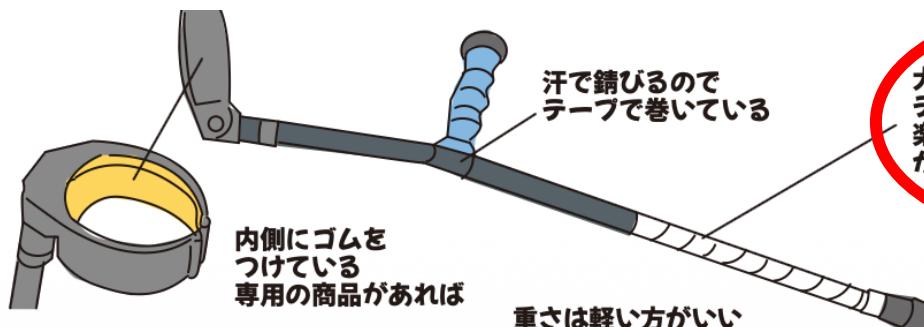
選手自身による改良

選手自ら「エンジニア」のように
改良している

知恵と探究心



アンプティサッカー選手の要望



既製品で解決できる商品はありませんか？

「クラッチ」の困り事

こわれやすい



すべりやすい



歩行用ゴムのため、体育館では滑り、芝生では刺さりにくい

ルール対応



国際試合では金属部分を隠す必要があり
テープで対応に手間かかる

全く異なる課題

- フィールドプレーヤー（下肢切断者）
- ゴールキーパー（上肢切断者）

アンプティサッカー キーパー 防具の課題と工夫



キーパー（上肢切断者）の危険性

腕を切断しているため、転倒時に手をつくことができず、肋骨などを負傷するリスクが高い



選手が安全にプレーするためには適切な防具が不可欠

市販品での工夫

アイシング用ラップなどで腕を固定



選手を守る防具の現状と解決策



オーダーメイド

義肢装具士に依頼
高い安全性
費用が約 10 万円
保険適用外

電動車椅子サッカー 選手と車椅子の深い絆

選手と専用の車椅子が一体となりボールを追いかける電動車椅子サッカー

課題1：電動車椅子の準備

理想

特注車椅子



現実

IAIが電動車椅子を準備
(貸出し)してくれたこ
とで始められた!



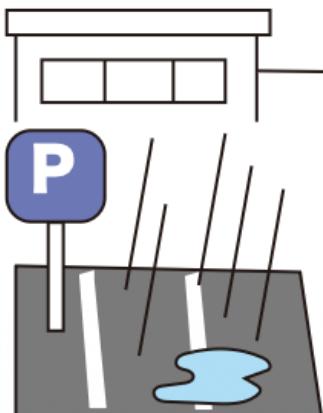
100円ショップの粘土でジョイステックを工夫

課題2：車椅子が壊れても…

試合の衝突でタイヤや部品が破損する
修理や運搬の費用が高く、おおきな負担
修理には専門技術が必要頼れる人が少ない



課題3：雨の日の移動「見えないバリア」って何?



「見えないバリア」の
一つ。少しの工夫で
選手たちが安心して
競技に集中できる環境
を作ることができます。



ブラインドフットボール
視覚障がいのある選手の
ためのサッカー



CPサッカー
脳性麻痺のある選手の
ためのサッカー



アンブティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がい
のある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー
重度の障がいがあり電動車椅子を
使用する選手のためのサッカー

なんとかして解決したい課題 車いす競技の宿命

練習後、試合後、家族にとって
一番大切な時間に家族が課されていること
【体育館床のタイヤ痕を消して回る】



汗だくになって疲労度：高

+

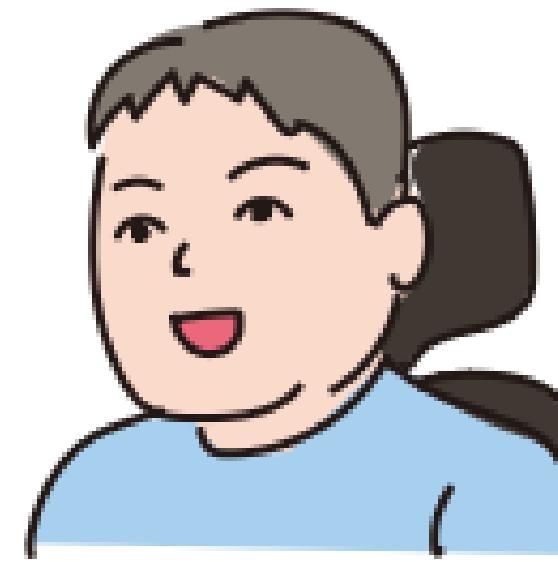
雨が降っていたら疲労度：更に上昇

+

事故に注意しながらの運転で疲労度：MAX

タイヤ痕だけ簡単に剥がせる
テープや洗浄液はありませんか？

この中学生の物語は
ここで終わりません。



ブラインドフットボール
視覚障がいのある選手の
ためのサッカー



CPサッカー
脳性麻痺のある選手の
ためのサッカー



アンブティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がい
のある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー
重度の障がいがあり電動車椅子を
使用する選手のためのサッカー

よし、
次のチャレンジだ！
その舞台はある！

彼は別のパラフットボールから
電動車いすサッカーに挑戦してきた若者です

「自分は立てなくなつたからサッカーをあきらめる」
ではない世界がココにあります

交流会の後悔

そもそも設定した20分で
選手の葛藤や想いを
伝えられるわけがない



ATAサテライト静岡

パラフットボールから始まる地域の輪 ～支援機器と想いをつなぐ、しづおか交流会～

本日の予定

座長挨拶：村岡健史 本事業の説明：テクノエイド協会
2025年10月4日（土）10:30-17:00

- 1 静岡県におけるパラスポーツ振興の取組みについて
牧野博文 氏（静岡県 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班）
- 2 パラフットボールと支援機器のつながり
「車いすファンサッカー・ファンガード」の紹介・パラフットボール道具の紹介体験／展示・IAIサッカーボ体験
- 3 IAIパラスポーツパークの設立と取組み
瀬戸脇 正勝 氏（静岡FIDサッカー連盟）
- 4 パラスポーツ当事者の声～インタビューから見えてきたこと～
座長：村岡健史

【意見交換会】

テーマ①：当事者の声からそれぞれの立場で思うこと／考えること
テーマ②：競技者・家族が希望する製品とは
テーマ③：想いを形にするための方法と普及のための方策



瀬戸脇氏

選手の困り事ヒヤリングをして、彼らが思っていても意見を出す場がなかったので、思ってもみないことが出てくる、課題として拾い上げる改善策として毎年でも行うことが良いと思いました。



Nさん

貴重なご意見を聞くことができ、ありがとうございます。
当事者のもっているニーズを聞く機会があまりないので担当者を通じてどれだけいかせていくか県としても頑張りたいと思いました。

接客者自立支援機器
ニーズ・シーズマッチング
地域交流会

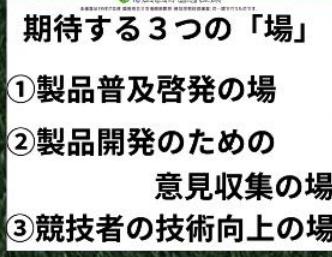
ATAサテライト静岡

パラフットボールから始まる地域の輪
～支援機器と想いをつなぐ、しづおか交流会～

座長挨拶：村岡健史 本事業の説明：テクノエイド協会
2025年10月4日（土）10:30-17:00
静岡市生涯学習センター 6階フレンゼルーム
会場：静岡市生涯学習センター 6階フレンゼルーム
定員：20名程度

期待する3つの「場」

- ①製品普及啓発の場
- ②製品開発のための意見収集の場
- ③競技者の技術向上の場





ネットワークなし 知識技術なし 【結論】

“あいのり”してしまえ

パラスポーツに
触れて興奮し
選手の声に
心動かされ
だけど、まだ
何もやれていない
男性の背中

= 静岡モデル



静岡県におけるパラスポーツ振興の取り組みについて



静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班
牧野 博文氏

パラスポーツの裾野拡大の取組

③パラスポーツの認知度向上、様々な団体との連携

「3.1の日」にパラスポーツ推進コンサーンアワード

調べてみると

勤務先である

所属団体であ

静岡県作業

未加入

厚生労働省



Nさん

交流会では、地域のネットワーク構築に繋がりそうなお話をたくさん聞くことができました。ありがとうございます。ぜひこの輪の中に、県内のPTやOT、ST等のセラピストの方々にも参加いただけすると、より広がった機器の支援が可能になるのではないかと思っています。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。



静岡県作業療法士会

Shizuoka Association of Occupational Therapists

先日の理事会にて来年度から団体登録することが承認された

【急いだ理由：瀬戸脇さんのこの言葉】



教育現場を卒業した障がい者は
同時に医療からも遠ざかる

自分の専門分野は
福祉用具
(特に介護用リフト)

このテーマだったら交流会を
うまく運べる自信がある

テクノエイド協会から紹介された
2024年ATAサテライト那覇
の報告動画

「私がやりたいことを、
すでにやってくれている」

飛び込んでみた
パラフットボールの世界



「これは
自分のライフワークに
なるかもしれない」

